

御挨拶

豊かな自然や温かな雰囲気にもまれた呉市立明徳中学校に、このたび校長として赴任しました。

本校は、4月11日の入学式で新入生17名を迎え、全校生徒40名（新3年生12名、新2年生11名）で令和5年度のスタートを切りました。

本校の生徒には、急速に変化する社会の中で、校訓にあるように「明るく 仲良く たくましく」、自分の良さを見つけ、それを伸ばしたり、苦手なことを補い合ったりしながら、新しいことを創造する力を身に付けてほしいと思います。

その際、大切にしたいのは、「対話」です。対話には、二つのことが必要だと言われます。それは、目的をもって自分から働きかけて話をきくこと、そして、相手の立場に立って伝えることです。そのときに、心がけたいことは、「ありがとう。」「いいね。」「うのみにしない。」「ええ方法を考える。」「『おやっ?』で止めない。」という「あいうえお」です。

生徒が安心・安全な環境の中で、対話を重ねながら学びを深め、大きく成長することができるよう、教職員が一致団結し、日々の教育活動を行って参ります。

御支援・御指導の程、よろしく願いいたします。

令和5年4月 呉市立明徳中学校長 荒森 圭子